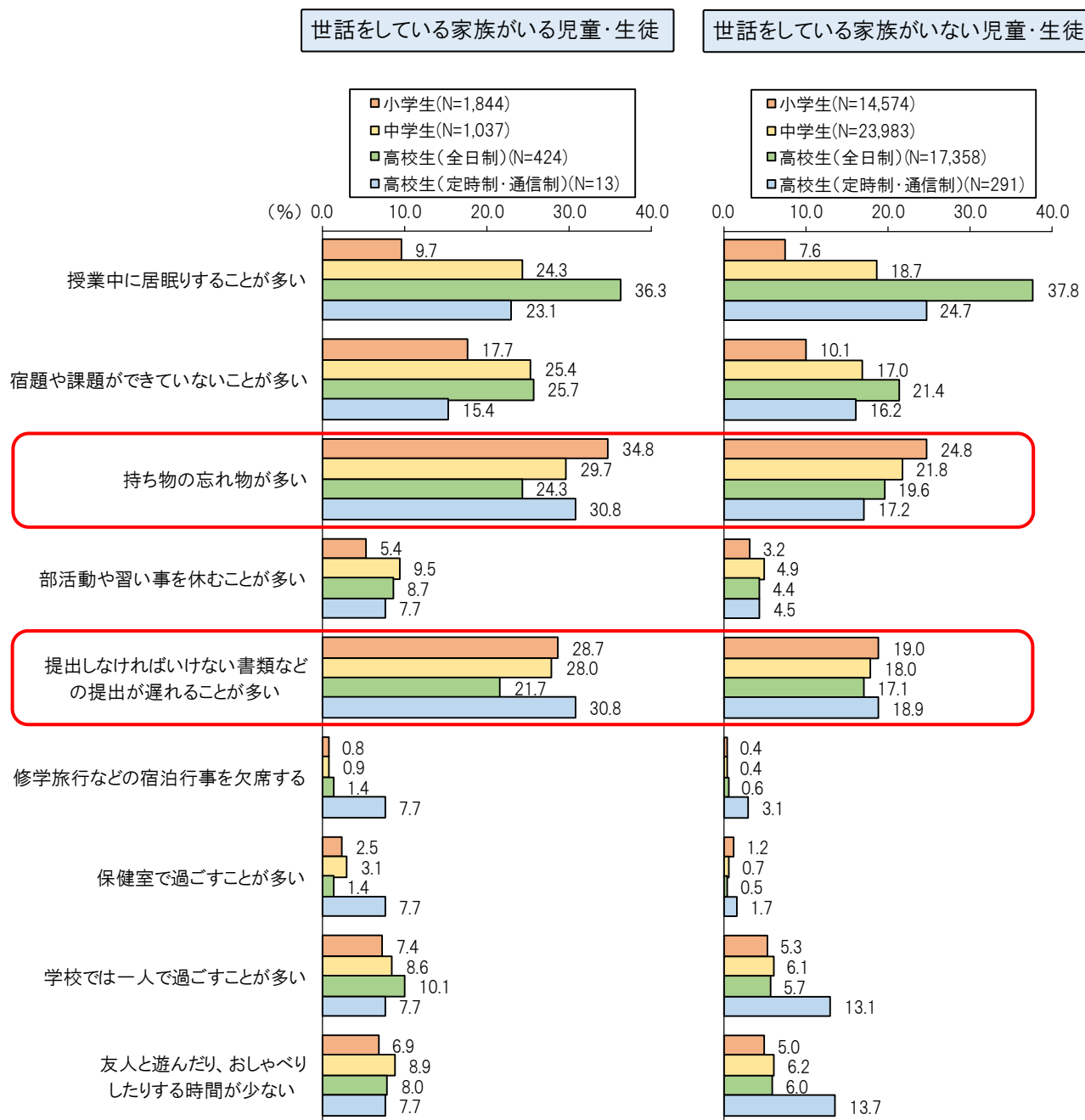


## 1 ふだんの学校生活について

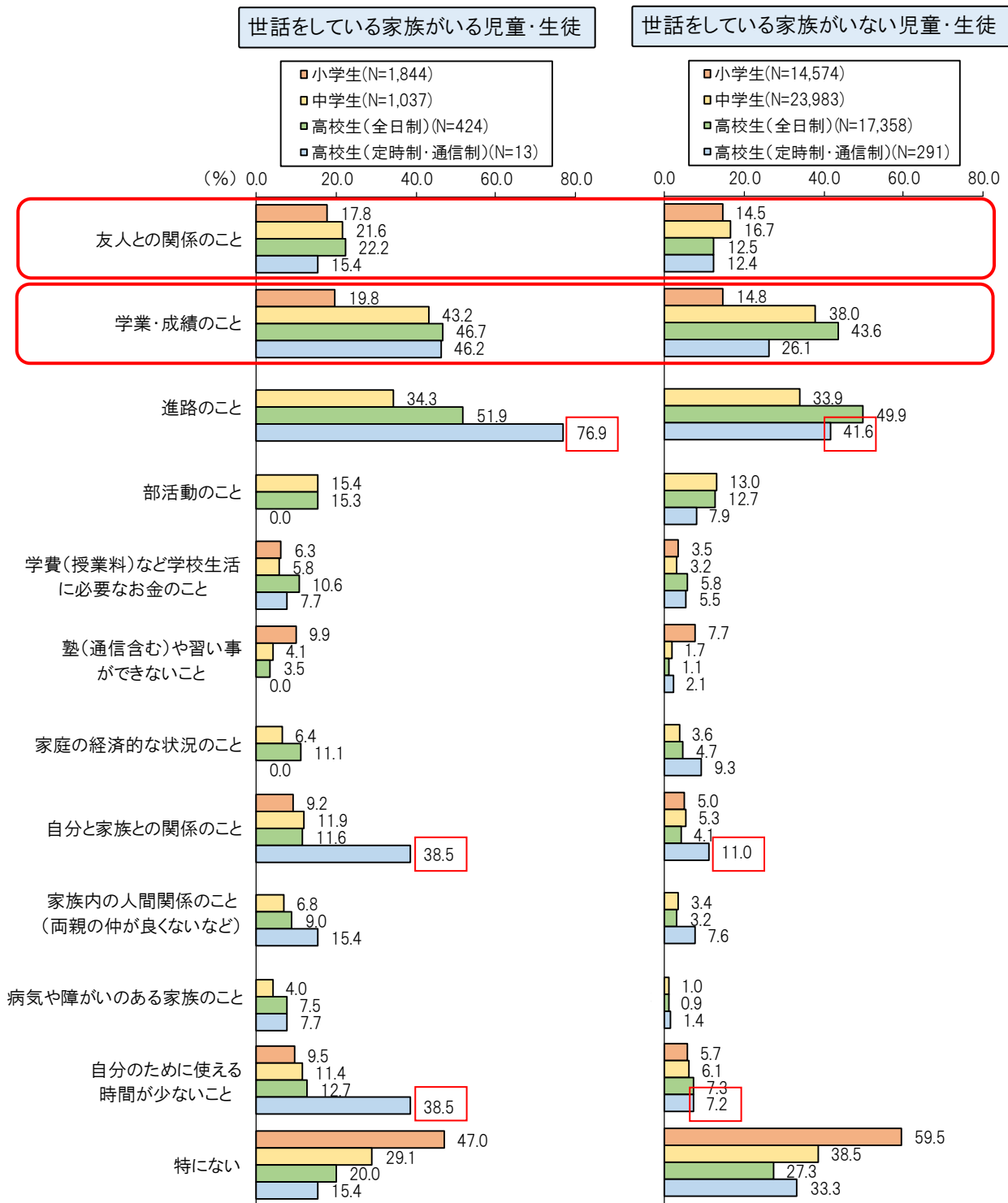
- 世話をしている家族が「いる」人は、「いない」人に比べて、「持ち物の忘れ物が多い」が約5～14ポイント、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が約5～12ポイント上回っている



注：Nは回答割合の基数を示す。(以下同様)

## 2 現在、悩んでいること

- 世話をしている家族が「いる」人は、「いない」人に比べて、「友人との関係のこと」が約3～10ポイント、「学業・成績のこと」が約3～20ポイント上回っている
- 世話をしている家族が「いる」高校生（定時制・通信制）では、「進路のこと」が約35ポイント、「自分と家族との関係のこと」が約28ポイント、「自分のために使える時間が少ないこと」が約31ポイント上回っている



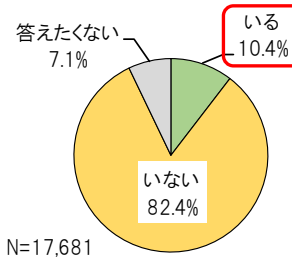
注：小学生の選択肢は中学生と異なるため、回答があるもののみ掲載している。

### 3 (1) 世話をしている家族の状況

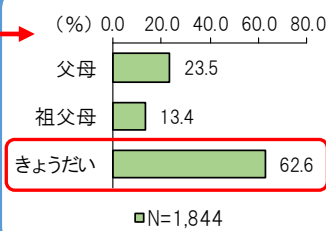
- 世話をしている家族が「いる」割合は、小学生で 10.4%、中学生で 4.0%、高校生（全日制）で 2.3%、高校生（定時制・通信制）で 4.0%
- 世話の相手は、小学生、中学生及び高校生（全日制）で約5～6割が「きょうだい」、高校生（定時制・通信制）では約5割が「父母」と最も高くなっている

世話をしている家族

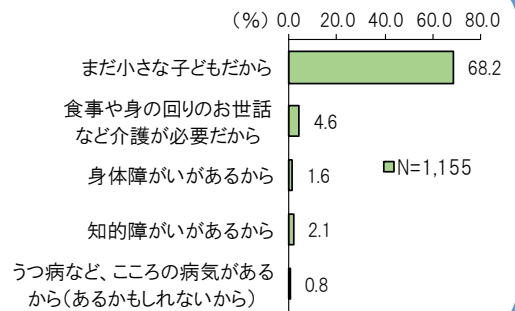
#### 小学生



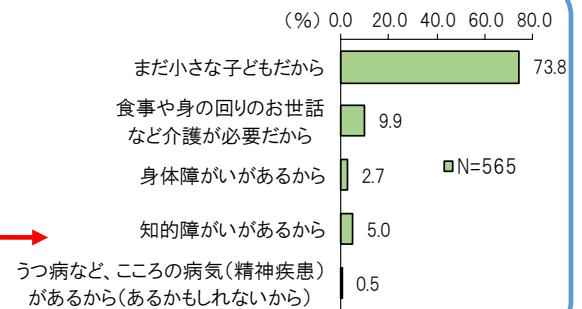
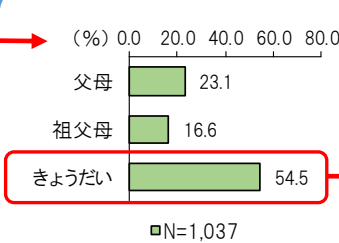
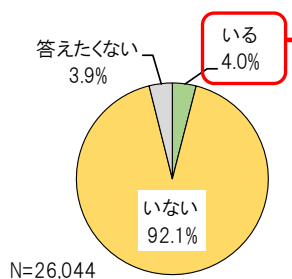
「いる」と答えた人のうち、世話をしている家族の内訳



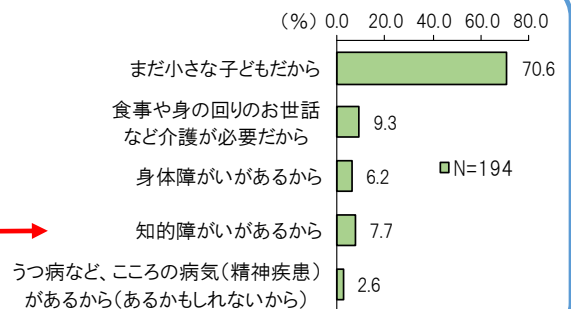
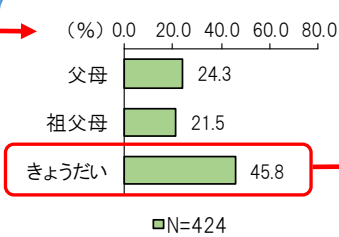
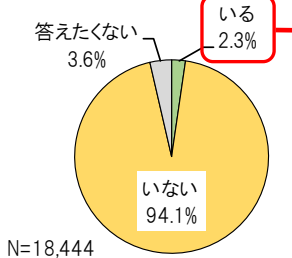
世話をしている理由



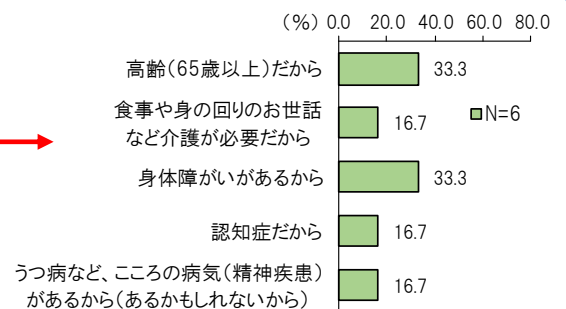
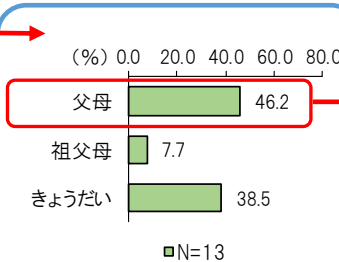
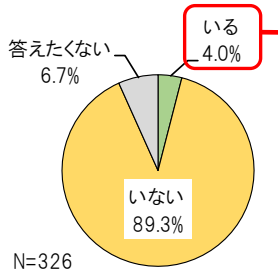
#### 中学生



#### 高校生(全日制)



#### 高校生(定時制・通信制)



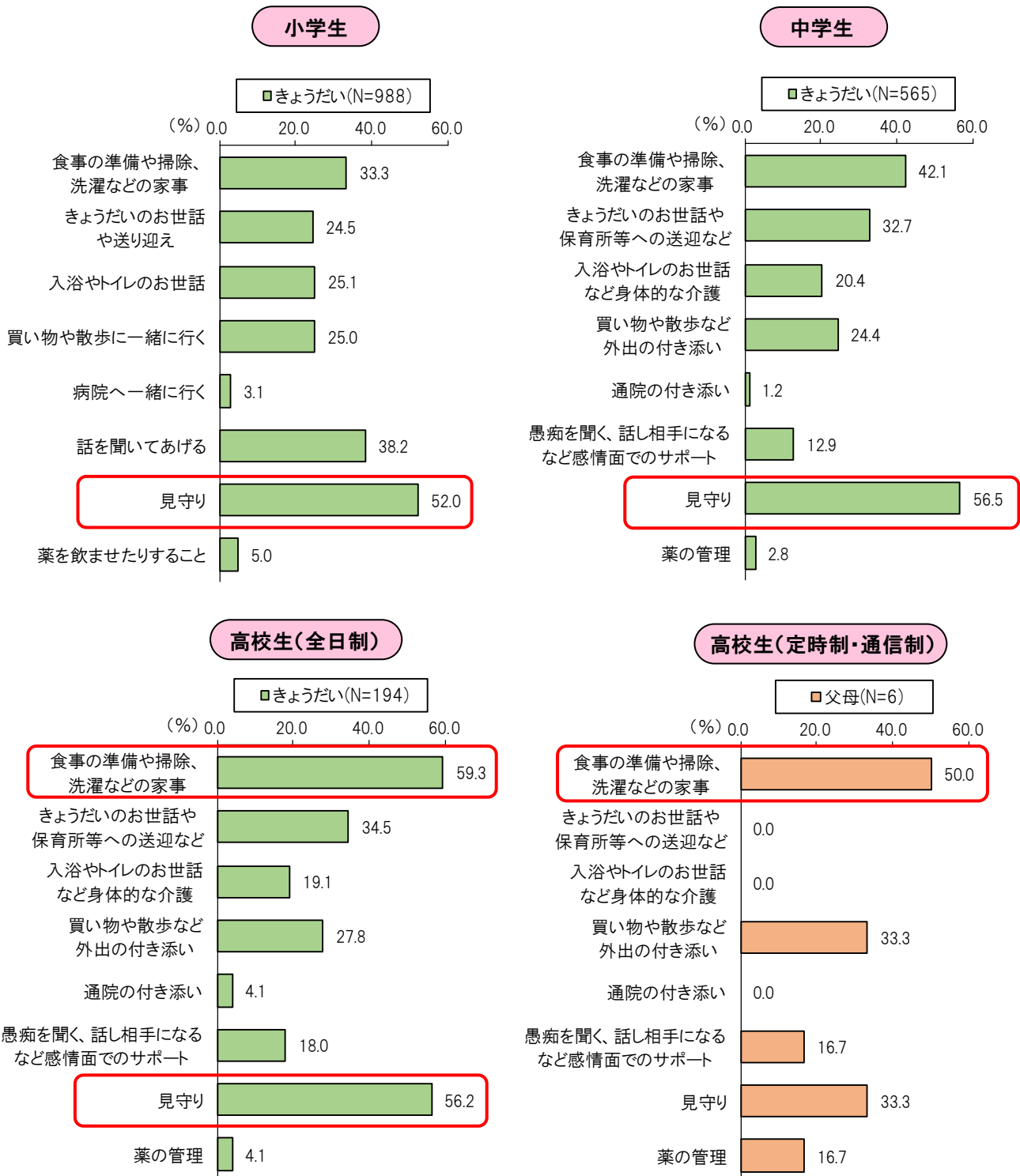
## (2) 世話の内容

### 《小学生、中学生及び高校生（全日制）》

- 世話の相手が「きょうだい」の場合では、約5～6割が「見守り」となっており、高校生では約6割が「食事の準備や掃除、洗濯などの家事」と最も高くなっている

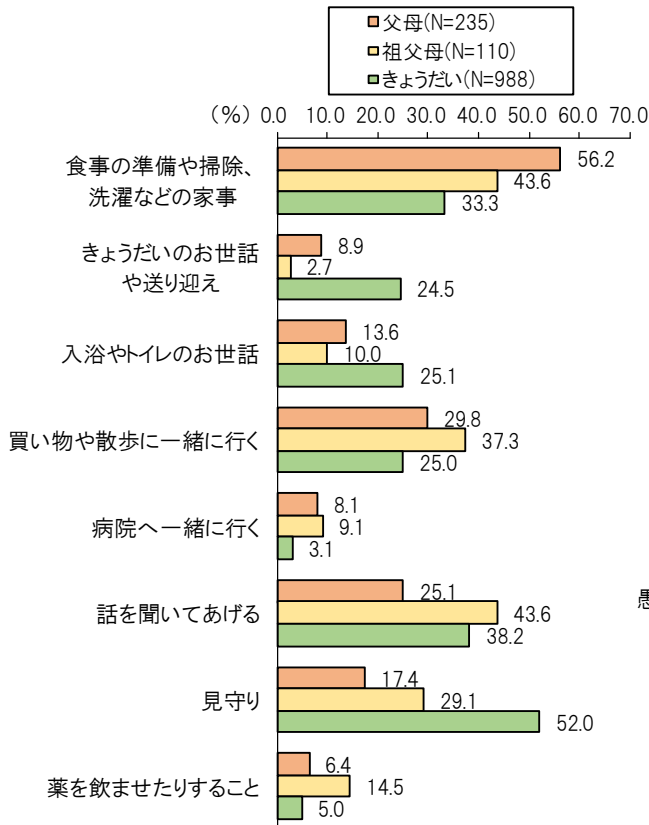
### 《高校生（定時制・通信制）》

- 世話の相手が「父母」の場合では、5割が「食事の準備や掃除、洗濯などの家事」と最も高くなっている

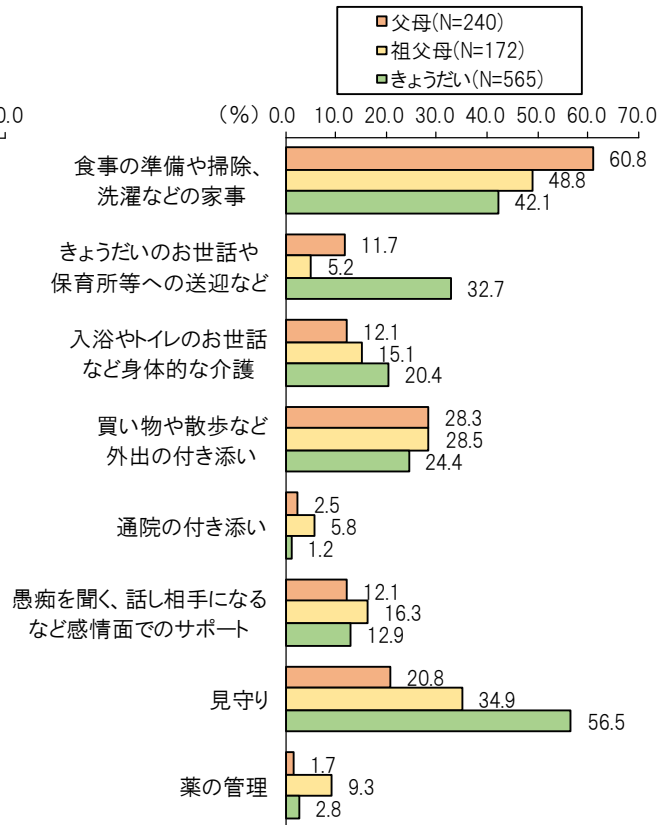


【参考】学校種別(全体)

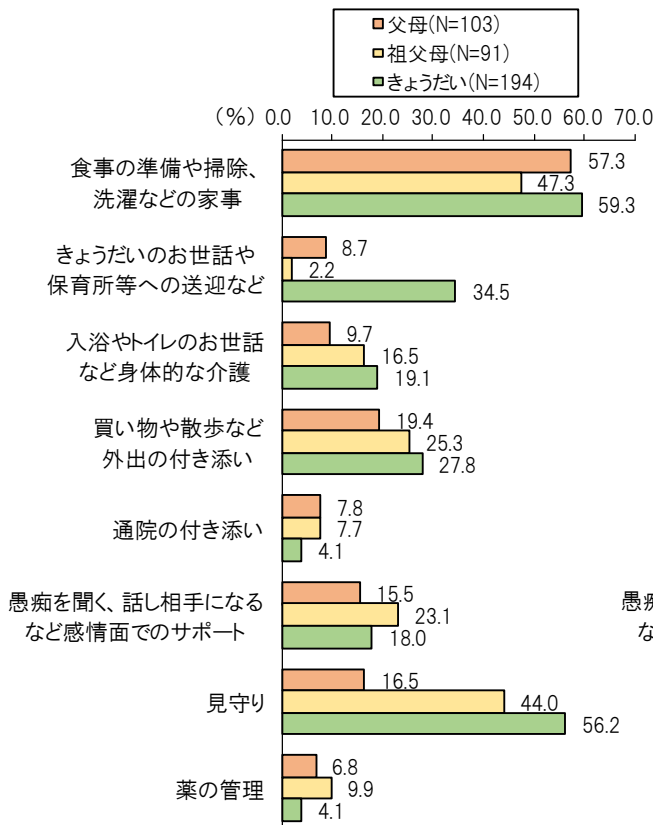
小学生



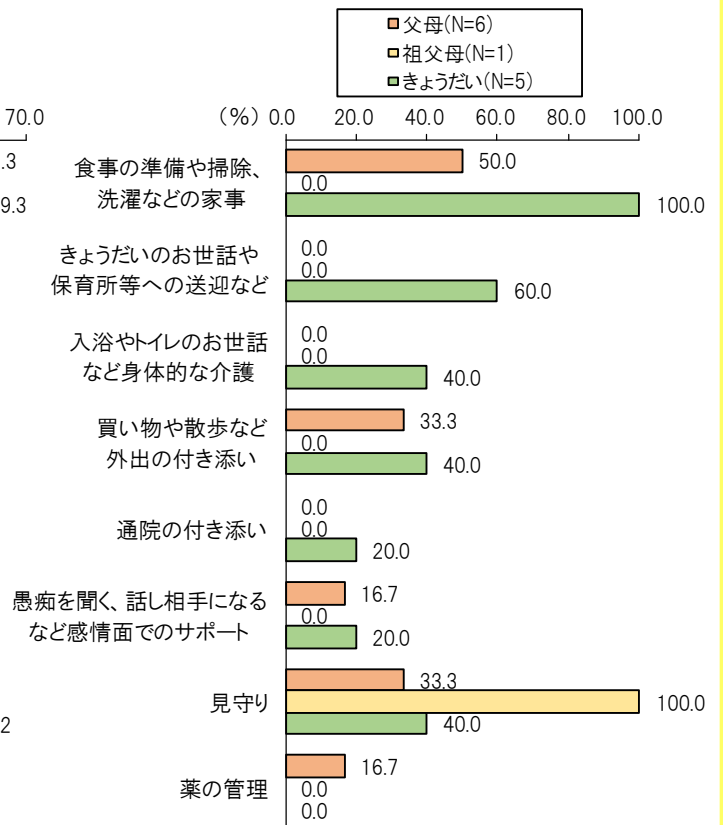
中学生



高校生(全日制)



高校生(定時制・通信制)



### (3) ①世話の頻度、②世話に費やす時間

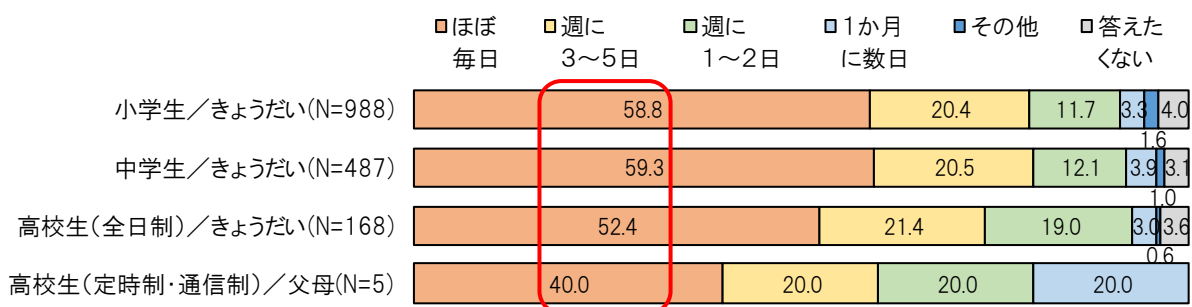
#### ①世話の頻度

##### 《小学生、中学生及び高校生（全日制）》

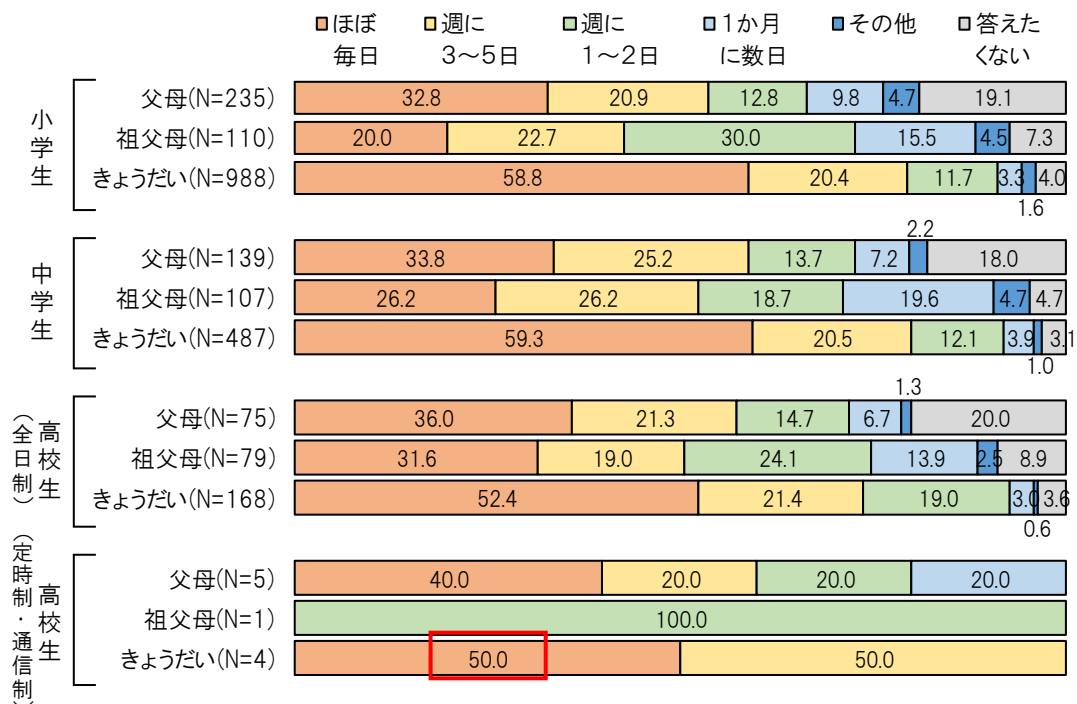
- 世話の相手が「きょうだい」の場合では、約5～6割が「ほぼ毎日」と最も高くなっている

##### 《高校生（定時制・通信制）》

- 世話の相手が「父母」の場合では4割が「ほぼ毎日」、世話の相手が「きょうだい」の場合では5割が「ほぼ毎日」となっている



#### 【参考】学校種別(全体)



②世話に費やす時間(平日)

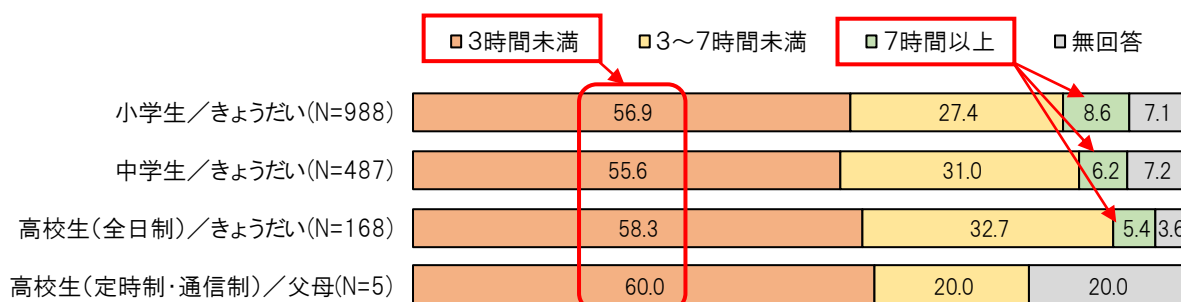
《小学生、中学生及び高校生(全日制)》

- 世話の相手が「きょうだい」の場合では、平日で約6割が「3時間未満」と最も高くなっており、約1割が「7時間以上」の日もあると回答。

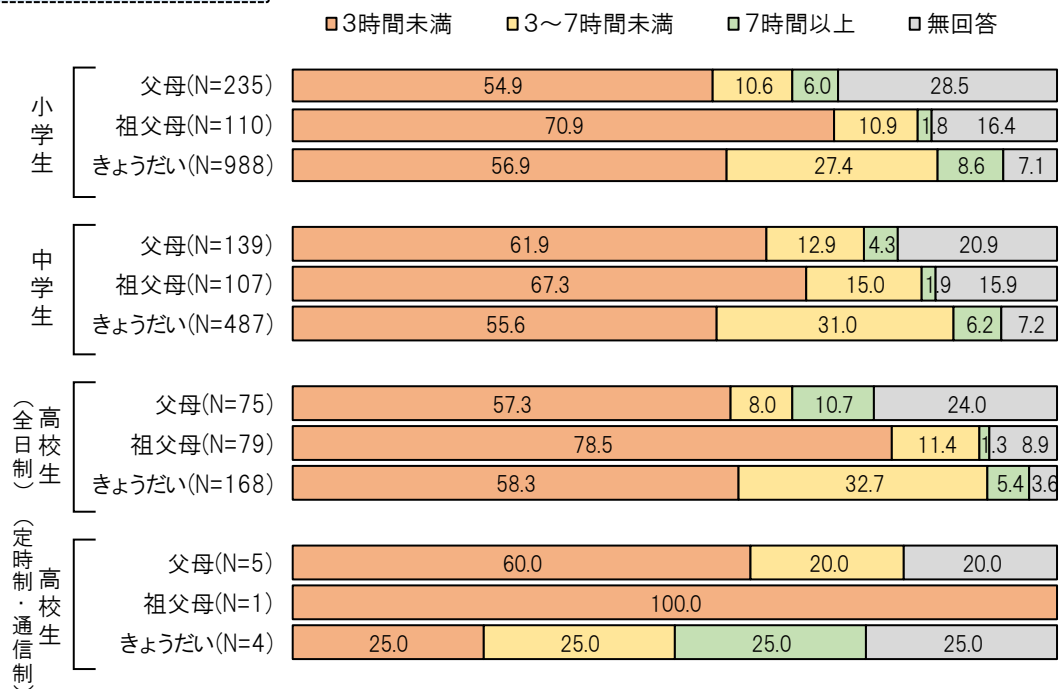
《高校生(定時制・通信制)》

- 世話の相手が「父母」の場合では、6割が「ほぼ毎日」と最も高くなっている

※1日当たりの時間数(日によって異なる場合は直近1か月のうち平日で最も長かった日の時間数)



【参考】学校種別(全体)



②世話に費やす時間(休日)

《小学生、中学生及び高校生(全日制)》

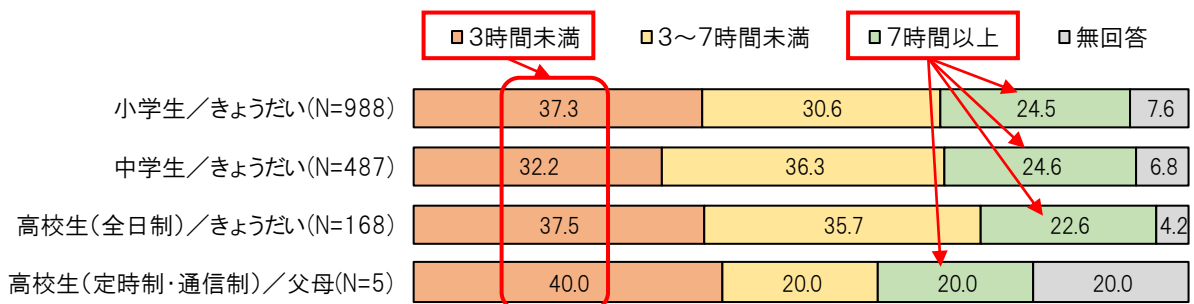
- 世話の相手が「きょうだい」の場合では、休日で「3時間未満」「3～7時間未満」がそれぞれ約3～4割となっており、約2割が「7時間以上」の日もあると回答

《高校生(定時制・通信制)》

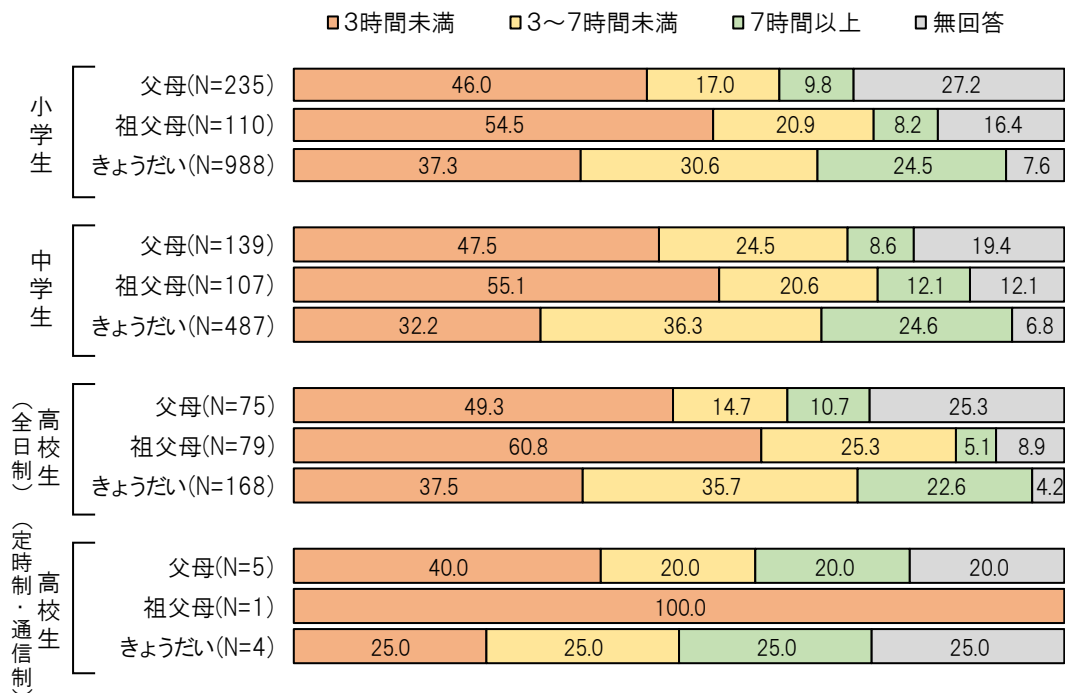
- 世話の相手が「父母」の場合では、4割が「ほぼ毎日」と最も高くなっており、約2割が「7時間以上」の日もあると回答

※1日当たりの時間数(日によって異なる場合は直近1か月のうち休日以最も長かった日の時間数)

平日に比べて、休日において世話に費やす時間が長くなっている



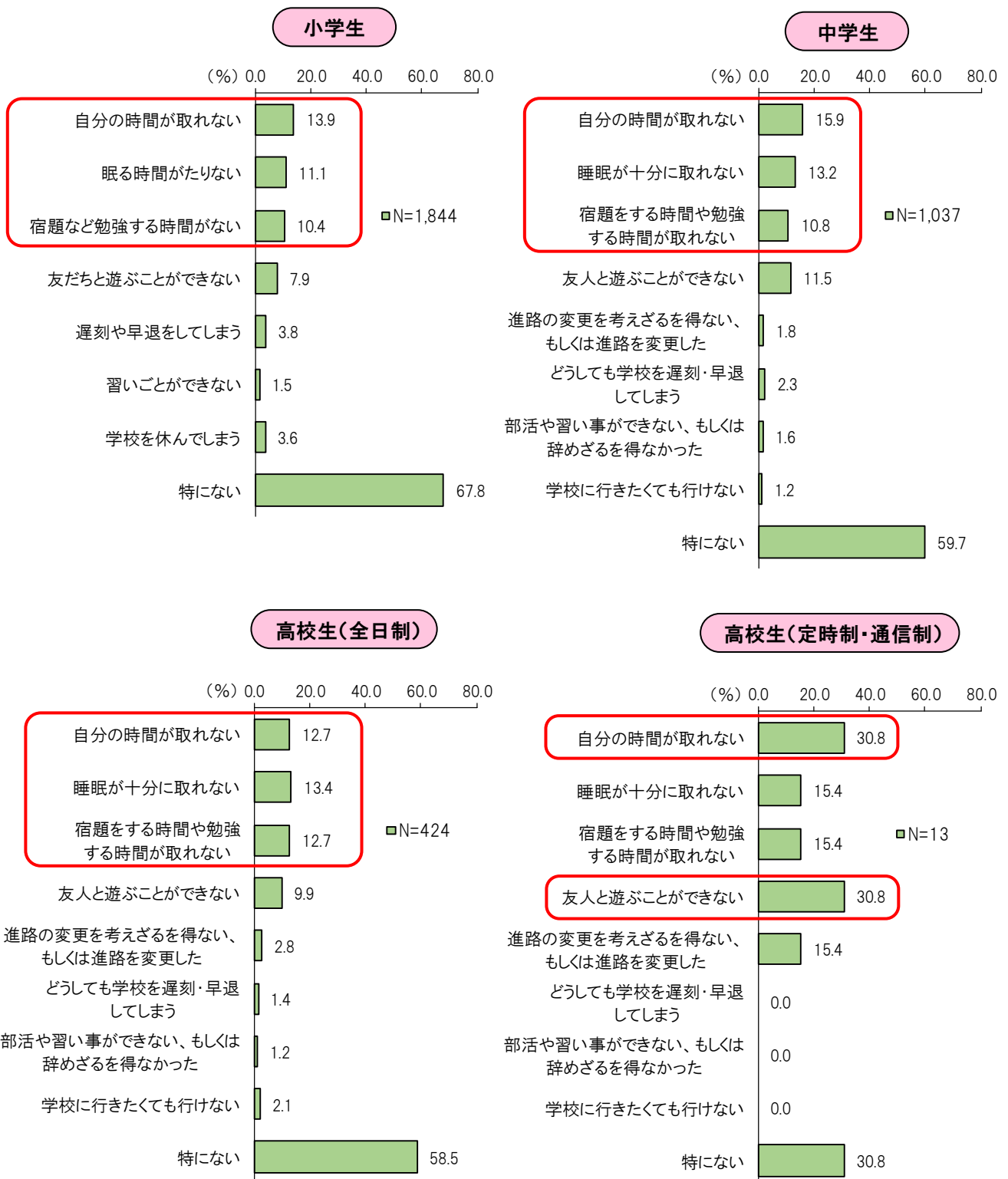
【参考】学校種別(全体)





#### (4) 世話をしているために、できていないこと

- 小学生、中学生及び高校生（全日制）では、約6～7割が「特にない」とする一方、約1～2割が「自分の時間が取れない」「睡眠が十分に取れない」「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」などと回答
- 高校生（定時制・通信制）では、約3割が「自分の時間が取れない」「友人と遊ぶことができない」と最も高くなっている



## (5) 世話のきつさ

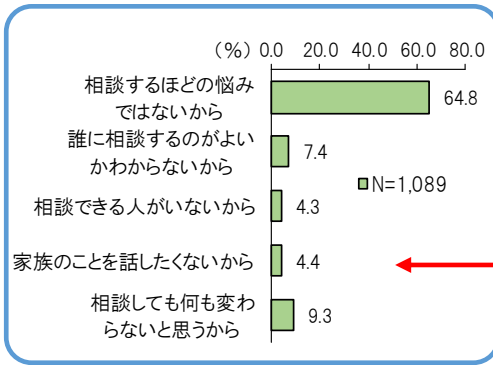
- 小学生では、約2割が「体力の面で大変」と最も高くなっている
- 中学生、高校生（全日制）及び高校生（定時制・通信制）では、「時間的余裕がない」の割合が最も高くなっている
- 約4～5割は「特にきつさは感じていない」と回答



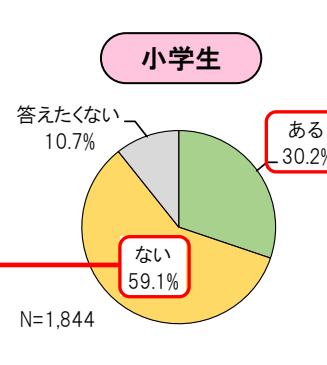
## (6) 相談状況

- 世話についての相談経験が「ある」割合は、小学生や高校生（定時制・通信制）で約3割、中学生や高校生（全日制）で約2割
- 相談相手としては、約6～9割が「家族」と回答し、「友人」が約3～5割と続く
- 相談していない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が約6～7割と高い

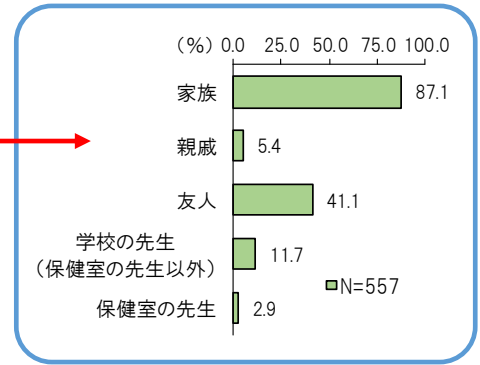
相談していない理由



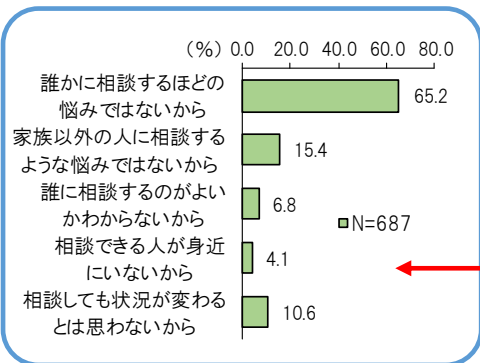
世話についての相談経験



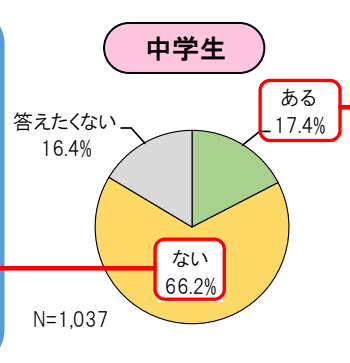
相談相手



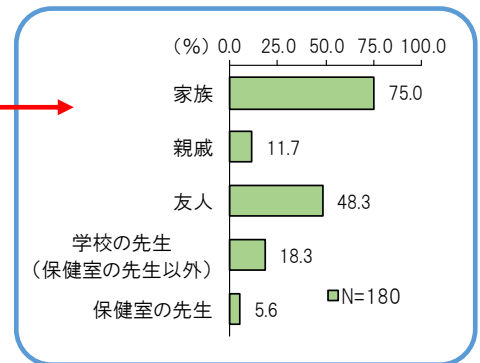
相談していない理由



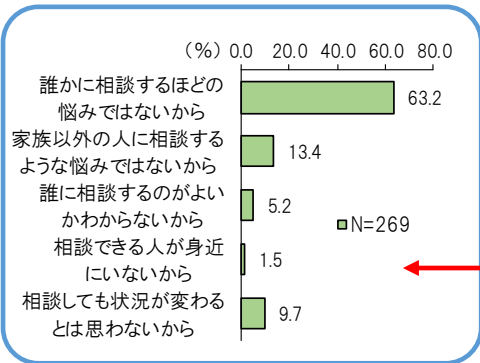
世話についての相談経験



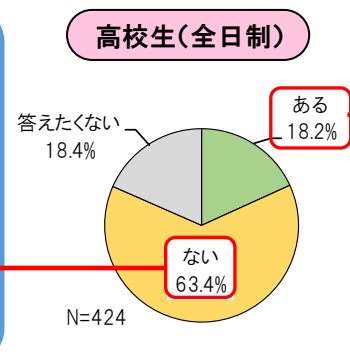
相談相手



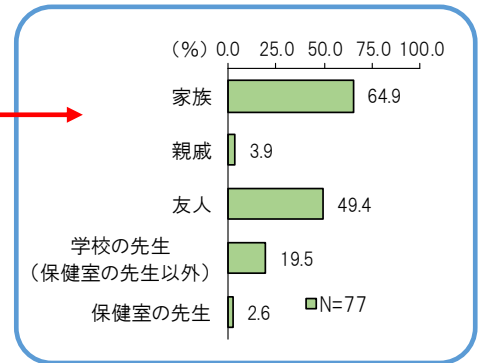
相談していない理由



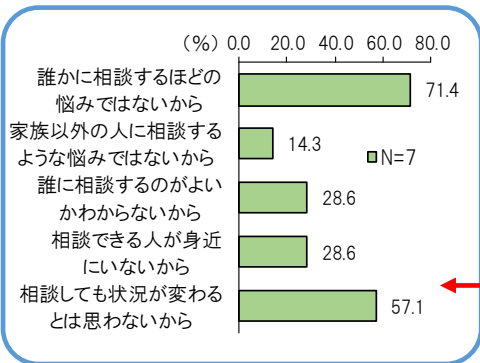
世話についての相談経験



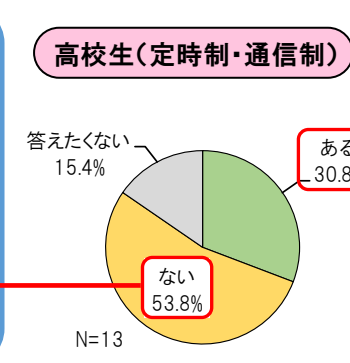
相談相手



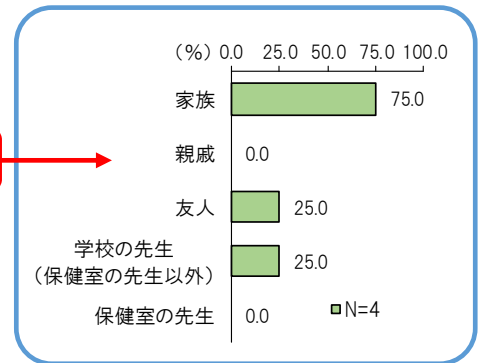
相談していない理由



世話についての相談経験

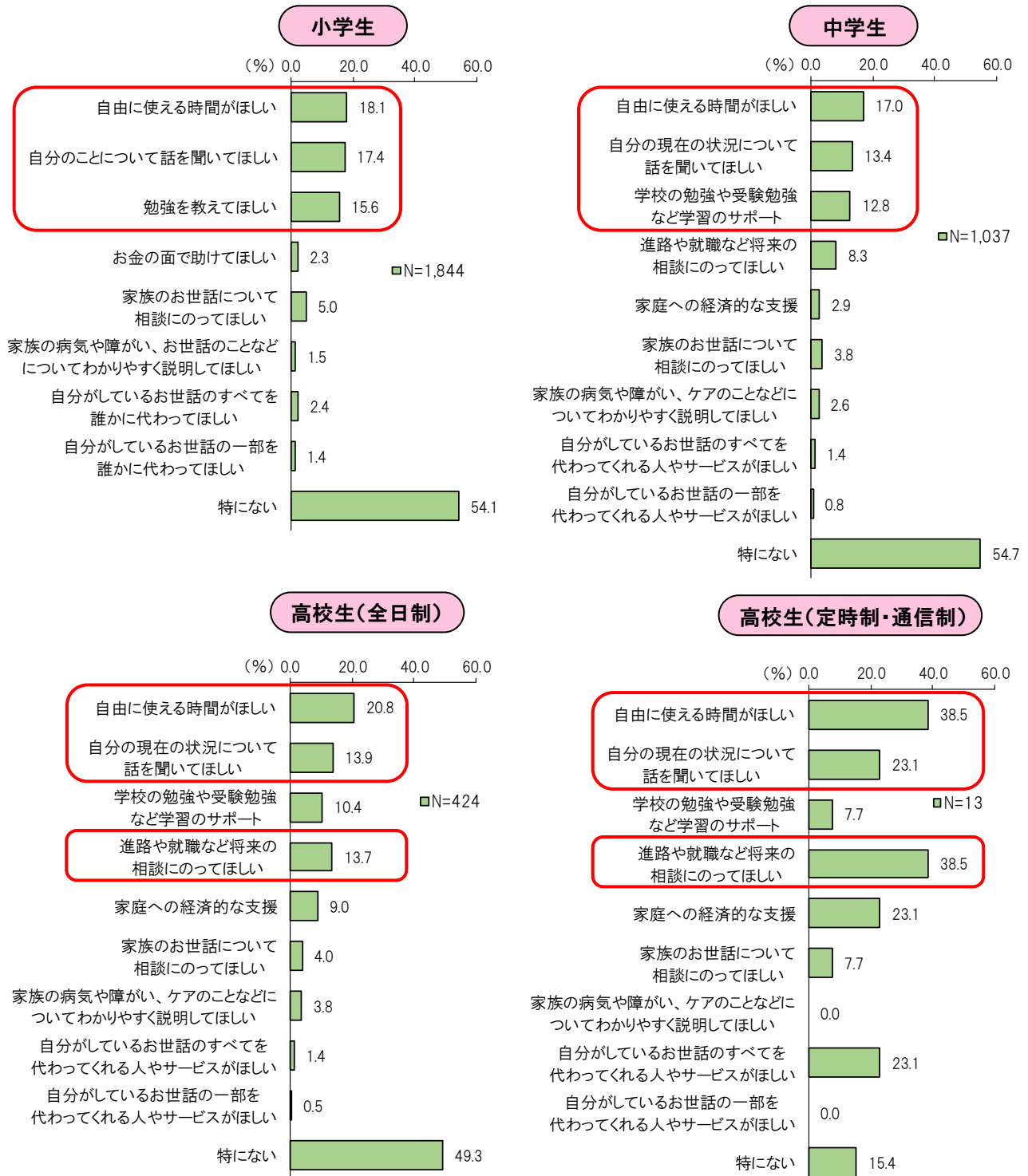


相談相手



## (7) 学校や周りの大人に助けてほしいこと

- 小学生及び中学生では、1位「自由に使える時間がほしい」、2位「自分のこと（自分の現在の状況）について話を聞いてほしい」、3位「勉強を教えてほしい（学習のサポート）」となっている
- 高校生（全日制）では、1、2位は小学生・中学生と同じであるが、3位が「進路や就職など将来の相談にのってほしい」となっている
- 高校生（定時制・通信制）では、1位が「自由に使える時間がほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」となっており、3位が「自分の現在の状況について話を聞いてほしい」などとなっている

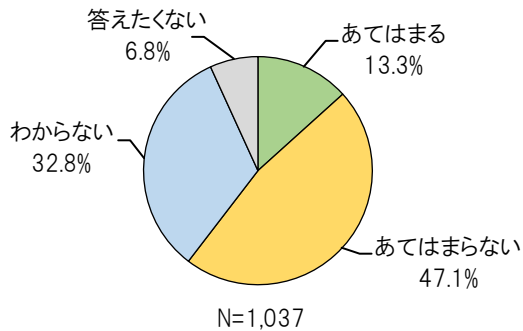


## 4 ヤングケアラーの認知度

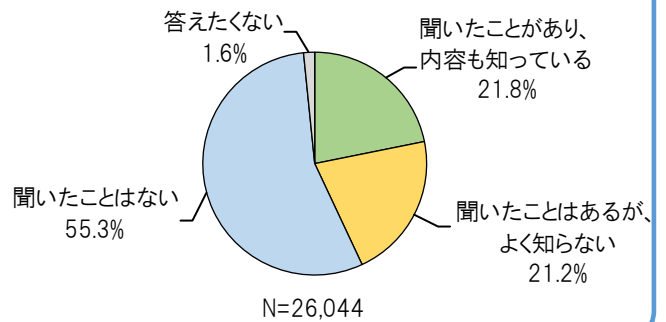
- ヤングケアラーと自覚している子どもは、中学生や高校生（全日制）で約1～2割、高校生（定時制・通信制）では約4割となっている
- ヤングケアラーの内容を知っている割合は、中学生で約2割、高校生で約3割
- ヤングケアラーを「聞いたことはない」割合は、中学生で約6割、高校生で約4～5割

### 中学生

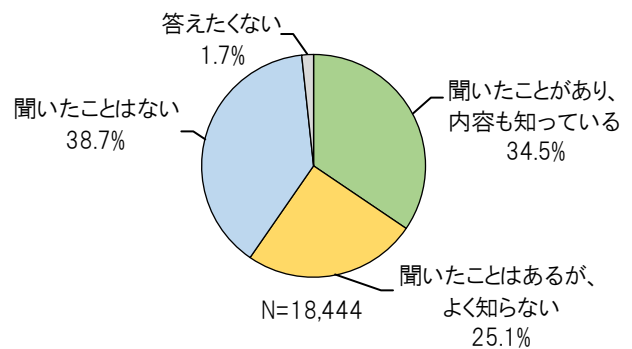
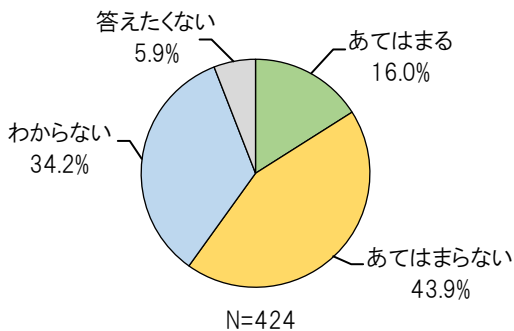
#### ヤングケアラーの自覚



#### ヤングケアラーの認知度



### 高校生(全日制)



### 高校生(定時制・通信制)

